

農林水産商工常任委員会資料

(平成23年7月21日)

項 目

- 1 とっとり国際ビジネスセンターの開所について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 1
- 2 知事の三洋電機株式会社訪問について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 2
- 3 株式会社不二家システムセンターの鳥取市進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 3
- 4 株式会社トレードマークの鳥取市進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 4
- 5 ジーニア&アーレイ株式会社の鳥取市進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 5
- 6 上田コールド株式会社の鳥取市進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 6
- 7 第2回北東アジア産業技術フォーラム参加について
【産業振興総室(産学金官連携室)】…………… 7
- 8 県内事業者を対象とした「ネットショップ開設セミナー」の開催について
【市場開拓局(市場開拓課)】…………… 9
- 9 「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について
【市場開拓局(市場開拓課)】…………… 11

商 工 労 働 部

とっとり国際ビジネスセンターの開所について

平成23年7月21日
経済通商総室
通商物流室

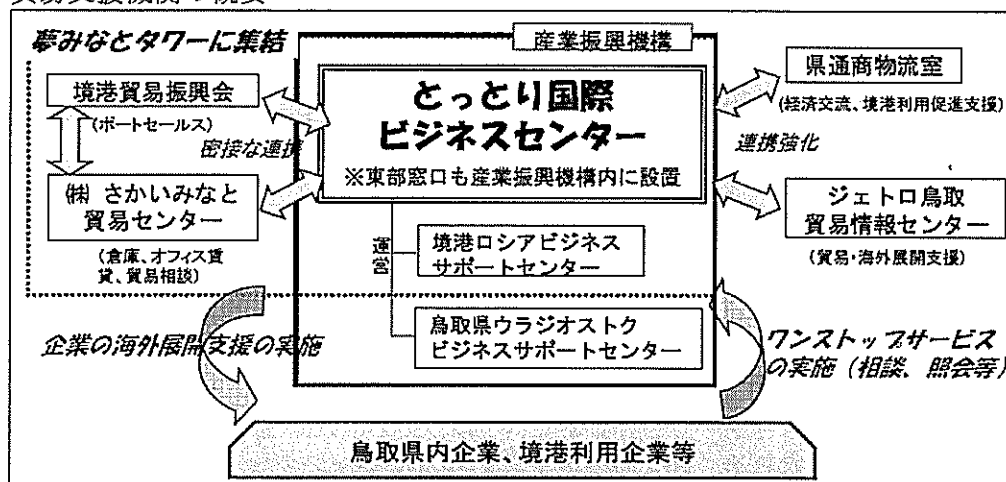
県内企業の貿易や海外販路拡大に関する支援サービスをワンストップで提供するため、(財)鳥取県産業振興機構の海外支援グループを拡充し、「とっとり国際ビジネスセンター」を境港市の夢みなとタワーに開設しました。7月11日に関係企業、関係機関等の出席を得て開所式を行い、記念セミナーを開催したほか、第2回鳥取県・江原道輸出企業展示商談会等を県と連携しながら実施します。



〔開所式の様子〕

1 とっとり国際ビジネスセンターの概要

- (1) 名称 とっとり国際ビジネスセンター
 - 所在地 境港市竹内団地 255-3 夢みなとタワー 2階
 - 東部窓口 (財)鳥取県産業振興機構内(鳥取市若葉台)
- (2) 体制(スタッフ) 6名
センター長、副センター長、リーダー、主事(東部窓口担当)、コーディネーター2名
- (3) 主な業務
 - 貿易、海外への販路拡大に関する個別相談の実施
 - 海外経済・産業、輸出入制度に関する情報提供
 - 海外との取引に関するマッチングの支援
 - ロシアビジネスのサポート
- (4) 貿易支援機関の概要



2 開所記念セミナー

- (1) 日時 平成23年7月15日(金)
- (2) 場所 夢みなとタワー 第3会議室
- (3) 内容 講師 イービストレード株式会社 代表取締役社長 寺井良治氏
テーマ 日本一元気な30人の総合商社の挑戦 ～美点凝視で作る新しいビジネス～

3 第2回鳥取県・江原道輸出企業展示商談会の開催

県産品の海外販路開拓及び境港利用促進のため、鳥取県及び江原道両地域の貿易を希望する輸出企業及び海外バイヤー等を対象に江原道と共同で商談会を開催する(第1回は平成22年6月28日に江原道東海市内で開催)。国際ビジネスセンターは県と連携し参加企業の支援を行う。

- (1) 期 日 平成23年8月5日(金) 13:00~17:30
- (2) 場 所 米子コンベンションセンター2階 国際会議室
- (3) 出展企業種別 農水産加工食品類、建築資材、ミネラルウォーター等
- (4) 想定参加者 出展企業関係者(40社) ※鳥取県、江原道各20社
バイヤー(日本、韓国、中国の有力バイヤー)、鳥取県・江原道関係者外

知事の三洋電機株式会社訪問について

平成23年7月21日
産業振興総室
企業立地推進室

平井知事は、パナソニック株式会社の「2011年度事業方針」が発表されたことに伴い、竹内鳥取市長と合同で三洋電機株式会社社長を訪問し、下記のとおり要請を行いました。

記

- 1 日 時 平成23年7月5日(火) 11時～11時45分
- 2 場 所 三洋電機株式会社 (大阪府守口市)
- 3 対 応 者 代表取締役社長 佐野 精一郎 (さの せいいちろう)
- 4 訪 問 者 鳥 取 県 知 事 平井 伸治
鳥 取 市 長 竹内 功
- 5 要請内容
 - ・ゴリラ、おどり炊き、GOPAN等三洋CEの優れた技術力を活かした商品を鳥取で引き続き生産していただきたい。
 - ・従業員一人一人の雇用を守っていただきたい。
 - ・今後発展が見込まれる分野（環境エネルギー分野等）や鳥取の強味が発揮できる事業への新たな取り組みをお願いしたい。
- 6 佐野社長の主な発言
 - ・鳥取における三洋電機グループの占める重要性を認識しており、パナソニックグループの中でも耳にタコができるほど強調している。
 - ・震災による需要の冷え込み、急激な円高、韓国勢との競争などで経営環境は厳しいが、地元の思いを真摯に受け止め検討していきたい。
 - ・従業員は配置転換が基本である。個人の事情で辞めざるを得ない人は出てくるかもしれないが、最大限努力する。
 - ・今回の要望については、私からパナソニックの大坪社長に伝える。

《三洋CEの最近の動きと県の対応》

○三洋CEの最近の動き

- ・三洋CEは、労働組合に対し家電部門の配置転換を前提とした協議を申入れ。
- ・労働組合と合意すれば、配置転換先を従業員に明示するとともに、早期退職の募集を開始。退職は9月末となる見込み。

○県の対応

- ・三洋CEの動きを注視するとともに、情報収集に努める。
- ・労働局、鳥取市と連携して、緊急雇用対策会議（仮称）の7月中設置に向け調整中。

株式会社不二家システムセンターの鳥取市進出に伴う協定書の調印について

平成23年7月21日
東京本部
産業振興総室
企業立地推進室

株式会社不二家システムセンター（本社：東京都江戸川区）が、リスク分散の観点から鳥取市にアウトソーシングサービス（事務処理受託）を行う事業所を開設することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 株式会社不二家システムセンターの概要

- (1) 所在地 本社：東京都江戸川区西葛西三丁目8-18
(事業所：郡山市、沖縄市)
- (2) 代表者 代表取締役社長 河田 郁夫 (かわた いくお)
- (3) 設立 1973年12月
- (4) 資本金 4,000万円
- (5) 業務内容
- ・ビジネスプロセスアウトソーシングサービス（ファックス受注業務、コールセンター業務、データ入力業務等の事務処理受託）
 - ・システム開発、保守サービスの提供
 - ・不二家グループのIT企画・開発・運用サービス
 - ・不二家グループの集約業務処理サービス提供

2 立地計画の概要

鳥取市に事業所を新設し、アウトソーシングサービスを行う。

- | | |
|--------|---|
| ① 新事業所 | 株式会社不二家システムセンター鳥取事業所 |
| ② 所在地 | 鳥取市今町二丁目112番地 アクティードミノ丸総本社ビル6階 |
| ③ 事業内容 | アウトソーシングサービス（当初は、オフィス用品通信販売の最大手のファックス・電話による受注業務を予定） |
| ④ 投資額 | 8,700万円 |
| ⑤ 従業員数 | 30名程度（3～5年後 100名程度） |
| ⑥ 操業開始 | 平成23年9月 |
| ⑦ 立地理由 | 自然災害・原発のリスクが少ない、同業他社の進出が少ない など |
| ⑧ その他 | 企業立地等事業助成条例のリスク分散加算を初めて適用する予定 |

3 調印式

- (1) 日時 6月28日（火）午後3時20分～4時
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社不二家システムセンター
- | | |
|-------|-------|
| 代表取締役 | 河田 郁夫 |
| 常務取締役 | 砂川 満 |
| 鳥取県知事 | 平井 伸治 |
| 鳥取市市長 | 竹内 功 |



砂川常務

河田社長

株式会社トレードマークの鳥取市進出に係る協定書の調印について

平成23年7月21日
産業振興総室
企業立地推進室

株式会社トレードマーク（本社：東京都港区）が、地域の活性化を目的としたブランディングを行うため鳥取市に事業所を開設（子会社を設立）したことにより、これを支援する鳥取県との間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 株式会社トレードマークの概要

- (1) 所在地 東京都港区虎ノ門五丁目11-1
- (2) 代表者 代表取締役 玖島 裕（くしま ゆたか）
- (3) 設立 平成11年11月
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 広告制作における企画・プレゼン及び制作作業全般におけるトータルプロデュース

2 立地計画概要

鳥取市に子会社を設立し、地域の活性化を目的としたブランディングを行う。

- | | |
|--------|--|
| ① 新会社名 | 株式会社トレードマーク鳥取 |
| ② 所在地 | 鳥取市千代水一丁目123 |
| ③ 資本金 | 500万円 |
| ④ 事業内容 | デザイン（ロゴ、パッケージ、ポスター等）を柱とした地域全体の総合プロデュース |
| ⑤ 従業員数 | 9名（5年後） |
| ⑥ 本格操業 | 平成24年4月（事業所開設：平成22年11月） |
| ⑦ 立地理由 | 昨年1月に鳥取砂丘で清涼飲料水「なっちゃん」のCMを撮影したのが縁 |

3 調印式

- (1) 日時 6月28日（火） 午前11時から11時40分まで
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社トレードマーク 代表取締役 玖島 裕
鳥取県 知事 平井 伸治



ジーニア&アーレイ株式会社の鳥取市進出に伴う協定書の調印について

平成23年7月21日
産業振興総室
企業立地推進室

ジーニア&アーレイ株式会社（本社：東京都新宿区）が、LED商品の企画・開発・製造を行うため鳥取市に事務所を開設（子会社を設立）することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 ジーニア&アーレイ株式会社の概要

- (1) 所在地 東京都新宿区新宿1-4-12
- (2) 代表者 代表取締役社長 畑 宏芳 (はた ひろよし)
- (3) 設立 平成11年4月
- (4) 資本金 4,400万円
- (5) 事業内容 エレクトロニクス分野、バイオメディカル分野を中心とした研究開発型のファブレスメーカー

2 立地計画の概要

鳥取市に子会社を設立し、LED商品の企画・開発・製造を行う。

- | | |
|--------|--|
| ① 新会社名 | ジーニア&アーレイ鳥取株式会社 |
| ② 所在地 | 鳥取市若葉台南七丁目5-1 (財)鳥取県産業振興機構内 |
| ③ 資本金 | 1,000万円 |
| ④ 事業内容 | LED商品の企画・開発・製造、LED及びエネルギー制御関連技術の研究開発・製造
・鳥取市内の協力工場にLED照明を製造委託、生産半年後には月産10万本を予定
・純国産製品であり、大手上場企業への納入及び輸出を予定 |
| ⑤ 従業員数 | 5名(3年後) |
| ⑥ 売上高 | 10億円(4年後 100億円) |
| ⑦ 操業開始 | 平成23年7月 |
| ⑧ 立地理由 | 県産業技術センターに充実した光測定機器がある、LED関連企業の集積がある など |

3 調印式

- (1) 日時 6月30日(木)
午後4時30分～5時10分
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 ジーニア&アーレイ株式会社
代表取締役社長 畑 宏芳
鳥取県 知事 平井伸治
鳥取市 市長 竹内 功



上田コールド株式会社の鳥取市進出に伴う協定書の調印について

平成23年7月21日
産業振興総室
企業立地推進室

上田コールド株式会社（本社：島根県出雲市）が、鳥取市に食品加工施設を備えた物流センターを新設することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 上田コールド株式会社の概要

- (1) 所在地 本社：島根県出雲市神西沖町2088-1
出雲物流センター、米子物流センター
- (2) 代表者 代表取締役 上田 広美（うえだ ひろみ）
- (3) 設立 平成5年11月
- (4) 資本金 2,500万円
- (5) 事業内容 運送サービス、保管・倉庫／保税倉庫、食品加工、農業部門 等

2 立地計画の概要

鳥取市に事業所を新設し、食品加工及び運送業・倉庫業を行う。

- | | |
|--------|----------------------------------|
| ① 新事業所 | 上田コールド株式会社鳥取物流センター食品加工センター（仮称） |
| ② 所在地 | 鳥取市賀露町740番地周辺 |
| ③ 面積 | 敷地：7,200㎡ 建屋：延べ3,866㎡ |
| ④ 事業内容 | 食品加工（規格外品の野菜を利用したカット野菜等）、運送業、倉庫業 |
| ⑤ 投資額 | 7億3,300万円 |
| ⑥ 従業員数 | 20名程度（5年後 50名程度） |
| ⑦ 売上高 | 約1億5千万円（3年後 約5億円） |
| ⑧ 操業開始 | 平成24年5月 |
| ⑨ 立地理由 | 姫路鳥取線など道路網の整備 |

*県企業立地補助金は、食品加工センターのみ対象

3 調印式

- (1) 日時 7月6日（水）午後1時20分～2時
- (2) 場所 鳥取市役所 第一応接室
- (3) 出席者 上田コールド株式会社
代表取締役 上田 広美
鳥取県知事 平井 伸治
鳥取市市長 竹内 功



第2回北東アジア産業技術フォーラム参加について

平成23年7月21日
産業振興総室
産学金官連携室

本県の友好交流先である中国吉林省にて開催された標記フォーラムに、江原道と共に参加し、産業技術に係る振興施策、研究内容の発表等を行いました。

*第1回は平成20年に江原道で開催。来年度は本県での開催予定。

1 目的

環日本海諸国と産業技術分野での交流を行うことにより、県内産業の発展及び環日本海諸国地域の産業発展に寄与する。

2 日程

7月6日(水): 経済開発区等視察、
第2回北東アジア産業技術フォーラム
7日(木): 吉林省長表敬、現地企業等視察



3 訪問者 商工労働部 岡村筆頭総室長
(地独) 鳥取県産業技術センター研究者2名 他

4 フォーラム概要

(1) 場 所 吉林省長春市 前進ホテル (2) 来場者数 150名程度

(3) テーマ

「科学技術創新と産業新興(植物生物製薬、農産品加工、資源保護と利用等分野)」

(4) 基調講演 「各地域の経済開発戦略」

- ・鳥取県 商工労働部 筆頭総室長 岡村 整裕
- ・江原道 江原テクノパーク 政策企画団 地域産業企画2チーム長 金 聖浩(キム・ソンホ)
- ・吉林省 科学技術庁 国際協力処長 白 應杰(バイ・インジェ)

(5) 研究内容発表

地 域	内 容
吉林省	『ヤマブシタケ抽出物による慢性萎縮性胃炎治療の有効成分の研究』 『人参多糖類の薬理活性研究』
江原道	『ガンワクチンにおける免疫補強剤の役割』 『遠赤外線処理による高麗人参の品質向上』 『ジャガイモを利用した胃炎、胃潰瘍等に効果がある健康食品開発』
鳥取県	『鳥取県の農産物加工』 『水産資源の有効利用と高付加価値化』

(6) 視察先

長春国家ハイテク技術開発区、北東アジア文化アイデア科学技術院、吉林大学自動車動態模擬実験室(中国政府により設置された国家重点実験室)

5 吉林省 王儒林(オウ・ルーリン) 省長談[表敬訪問時]

- ・この度のフォーラムが皆様の協力で成功裏に開催できたことを大変うれしく思う。
- ・9月に開催する第7回北東アジア投資貿易博覧会は、鳥取県にはこれまですべての回に参加して頂き感謝している。平井知事に、ぜひとも9月に長春でお会いしたいと伝えて欲しい。



6 吉林省科学技術庁 毛健(マオ・ジエン) 庁長談[交流会時]

- ・9月の投資貿易博覧会に、江原道呉(オー)産業経済局長、岡村筆頭総室長とも来て頂き、産業技術に関する交流を進めたい。また、来年は鳥取県でのフォーラム開催でもあり、鳥取県の産業振興施策の情報発信をして欲しい。世界マンガサミットの宣伝をしてはどうか。

【参考】

1 北東アジア産業技術フォーラム開催経緯

2006年9月、日本国鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア連邦沿海地方、モンゴル中央県の各知事が出席した「第11回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット（注）」に於いて、産業技術分野の交流推進について合意。

『北東アジア地域の共同発展のためには、北東アジア地域における先端科学技術交流が必要という認識を共にし、各地方政府における科学技術フォーラムの開催及び共同研究開発事業等、実質的な科学技術交流のため積極的に協力するものとする。』（共同発表文より抜粋）

（注）鳥取県、中国吉林省、韓国江原道、ロシア連邦沿海地方、モンゴル中央県の知事、首長が一堂に会し、北東アジア地域の共同繁栄及び発展に関する意見交換等を行う国際会議。1994年より各地持ち回りで開催。

2 第1回北東アジア産業技術フォーラム概要

（1）サミットでの合意に基づき、2008年10月、韓国江原道において「第1回北東アジア産業技術フォーラム」が開催され、鳥取県商工労働部長、江原道産業経済局長、吉林省科学技術庁長の3者により「産業技術交流協力協定書」を締結。

（2）「産業技術交流協力協定書」の内容（協定書より抜粋）

『① 鳥取県と江原道及び吉林省相互間の産業技術発展に寄与できる共同研究開発活動の協力と機会の増進を目的とする。この協力には、科学者及び研究者間の相互交流、共同ワークショップを通じた情報の交換及び相互に有用な科学技術交流等を含める。

② 各地方政府は、下記の分野を優先協力課題に選定し、各地方政府が主導するプロジェクトに発展させる。

- 生命工学（BIO）、○情報通信（IT）、○電子医療機器、○新素材（Fine Ceramics）、
- 人的交流（科学者及び学生）、○各地方政府の研究試験機関間の共同研究事業

（3）その他の行事 産業技術発表、研究機関等視察

3 関連する事業等

- ・2009年鳥取大学医学部と延世（ヨンセ）大学校原州（ウォンジュ）医科大学が学術交流協定締結。2011年度より共同研究開始予定。
- ・2010年江原道テクノパークと（財）鳥取県産業振興機構が協定書を調印。相互に訪問団（民間企業を含む）派遣を実施中。

県内事業者を対象とした「ネットショップ開設セミナー」の開催について

平成23年7月21日

市場開拓課

成長著しいインターネット通販事業への県内事業者の取り組みを支援するため、「ネットショップの開設に関心があるが一步踏み込めない」、又は「ネットショップを開設したが運営がうまくいかない」といった悩みを抱える県内の事業者、起業を目指している県内在住者を対象としてネットショップ開設セミナーを実施します。

また、セミナー受講者のうち、将来性のあるビジネスプランを策定した事業者については、ネットショップの開設経費等への補助を行います。

1 セミナーの内容

○導入編（ネットビジネスの基礎知識）

ネットビジネスの現状、ネットショップの種類、ネットビジネスのメリット・デメリット等を紹介し、ネットショップの始め方から運用までの手順をネットビジネスが初めての方にも分かりやすく説明。

○企画編（ネットビジネスの販売戦略策定・実行）

合計3日間で自社事業の分析からネットビジネスの戦略策定までを行い、ネットショップの開設企画書を作り上げることによって、ネットビジネスの具体的なイメージを創造し、ネットショップ開設をより現実的に検討できるような少人数制の実践的な内容。

2 開催日時及び定員

○導入編（定員は各会場とも30名）

東部会場 7月26日（火）午後1時～4時

西部会場 7月27日（水）午後1時～4時

○企画編（定員は各会場合わせて15社）

東部会場

・1日目 8月4日（木）午後1時～4時

・2日目 8月10日（水）午後1時～4時

・3日目 8月22日（月）午後1時～4時

西部会場

・1日目 8月5日（金）午後1時～4時

・2日目 8月11日（木）午後1時～4時

・3日目 8月23日（火）午後1時～4時

3 ネットショップの開設経費等への補助

企画編終了後に希望者を対象にプレゼンテーション会を開催し、セミナーの受講者が導入編・企画編の受講を通じて作成したネットショップ開設企画書の審査を行い、審査結果が上位の事業者には、ネットショップの開設（更新）に係る経費の一部を補助します。

(1) 対象者

導入編・企画編を受講した事業者のうちネットショップ開設経費に係る補助金の交付を希望する者

(2) 対象経費

ネットショップ開設・更新経費（サイト作成経費等）

(3) 補助金額

上限10万円以内（補助対象経費の1/2以内）

(4) 予算額

50万円（事業名：食のみやこ鳥取県推進事業（とっどりの逸品販路拡大支援事業））

ネットショップ開設セミナー

参加者募集

IT × 戦略 × 経営

- ネットショップをオープン予定の方
- ネットショップを展開しているがうまくいっていない方

- ネットショップのメリットとデメリットを分りやすくご説明
- ネットショップの構築から運営方法についてご説明
- 商品の特性とネットショップの特性を生かした販売戦略の策定・実行を実習形式で実施

導入編 ネットビジネスの基礎知識

《効果的なIT活用法のポイントを分りやすくご説明いたします。》

参加費無料！！

※導入編のみ受講の場合

		スケジュール	
東部会場	日時：平成23年7月26日[火] 13:00～16:00	13:00 - 14:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットショップの動向 ■ ネットショップの開設パターン ・インターネット事業、ネットショップの動向について ・ショッピングモール・独自サイト・オークションのメリット、デメリット、開設方法の違い等
	場所：県民ふれあい会館中研修室1 (鳥取市扇町21)	14:15 - 15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ IT活用の為の基礎知識 ・ドメインについて ・広報の仕方 (SEO、PCP広告、アフェリエイトなど) ・ネットマーケティングについて (IDOMA、AISASなど) ・ソーシャルメディアの活用 (SNS、ブログ、Twitter)
西部会場	日時：平成23年7月27日[水] 13:00～16:00	15:30 - 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットショップ開設企画～運用までのポイント ・企画、構成、制作、検証、オープン、運用の各ポイント
	場所：米子コンベンションセンター 第4会議室(米子市末広町294)		

※定員：各会場30名

企画編 ネットビジネスの販売戦略策定・実行

《夢実現の為のネットビジネス戦略策定・実行を実践形式で実施いたします。》

		スケジュール	
東部会場	1日目 日時：平成23年8月4日[木] 13:00～16:00 場所：ナレッジサポート(鳥取市湖山町)	1日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入編の復習と応用知識 ・ネットショップビジネスの現状 ・現状分析のやり方とポイント ・外部環境・内部環境の整理 ・独自性・夢を描く ・実習
	2日目 日時：平成23年8月10日[水] 13:00～16:00 場所：ナレッジサポート	2日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットショップ戦略策定 ・夢の実現性の分析 ・ネットショップ運営事例 ・ネットショップ戦略策定のポイント ・業務イメージ、システムイメージ作成 ・ネットショップ開設プロセスの確認 ・実習
	3日目 日時：平成23年8月22日[月] 13:00～16:00 場所：県庁会議室(鳥取市東町)	3日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットショップ開設企画書作成 ・企画策定のポイント ・1、2日目の成果物のまとめ ・費用計画 ・実習
西部会場	1日目 日時：平成23年8月5日[金] 13:00～16:00 場所：西部総合事務所会議室(米子市鞆町)		
	2日目 日時：平成23年8月11日[木] 13:00～16:00 場所：西部総合事務所会議室		
	3日目 日時：平成23年8月23日[火] 13:00～16:00 場所：西部総合事務所会議室		

参加費 2,000円 (テキスト代)

※定員：東部・西部合わせて15社

日程・会場は予定となり、変更になる場合もございます。

プレゼンテーション会

ネットショップ開設費用を補助します！！

企画編終了後(補助金希望者のみ)

＜対象者＞
導入編・企画編を受講した事業者のうちネットショップ開設経費に係る補助金の交付を希望する事業者

＜経費補助について＞
ネットショップの開設(リニューアル)に係る経費の一部を助成いたします。
※1社あたり上限10万円以内(補助対象経費の1/2以内) 予算総額50万円

＜交付決定の方法＞
ネットショップ開設セミナー企画編の終了後に行う『プレゼンテーション会』において審査を行い、審査結果が上位の者から優先的に補助金を交付いたします。

■ 対象者：鳥取県内の事業者、起業を
目指している鳥取県内在住の方

■ 主催：鳥取県
お問い合わせ先：0857-26-7828

■ セミナー運営協力(講師)：株式会社LASSIC

鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局市場開拓課

FAX:0857-21-0609 ※お申し込み締切平成23年7月22日(金)
お申し込み方法：裏面のお申し込み用紙へご記入の上、FAXして下さい。

「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成23年7月21日
東京本部
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」を拠点とした、首都圏における県産品販路開拓の取組み状況について報告します。

1 販路開拓

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介して、次のとおり販路を開拓

【最近の事例】

開拓した販路	取扱商品
自然食品を中心に展開するネット通販会社	9社25商品(らっきょう、ながいも、一夜干しセット、干しわかめ、さざえ、かにしゃぶ、牛つくだ煮、らっきょう漬、しじみなど)を取扱中。
全国の小規模作業所や地域のこだわり商品を中心に展開するネット通販会社	9社26商品(ちくわ、板わかめ、ロールケーキ、かりんとう、牛つくだ煮、シャンプーなど)を取扱中。3社3商品(竹するめ、ねばりっこフリーズドライなど)について商談中。
健康食品を中心に展開するネット通販会社	4社13商品(シャンプー、化粧品、お茶、お茶加工品、梨酢など)を取扱中。6社7商品(石けん、グランキオイル、金山寺みそなど)について商談中。

2 情報発信

<テレビ・雑誌等での紹介>

家庭画報 Special「日本の美味遺産」(3/1)、グルメジャーナル(3/7)、毎日新聞(4/27)、日本テレビ「news. every」(5/12放送)、チバテレビ他2局「塾長! 生島ヒロシの定年塾」(5/22放送)

<店舗内催事等による>

- ・2階飲食店舗において、県内の地酒「強力」のPRイベントを開催(6/11)
- ・2階飲食店舗において、旬のすいかを使ったスペシャルメニューを提供
- ・その他にも、延べ13の県内事業者が試食販売などを実施(4~6月)。さらに、2事業者が因州和紙を使用したあぶらとり紙、「黒にんにく」を使った健康食品の試食(用)販売を実施予定(7月)
→相対で首都圏の消費者に接し、ニーズ等を把握
- ・倉吉農業高等学校の生徒が、幻の「大山すいか」の販売実習を実施(7/16)
- ・米子南高等学校の生徒が、県内高校生開発商品の販売実習を実施予定(7/29~31)

<店舗外催事による>

首都圏で開催されたイベントにアンテナショップが出店し、県産品をPR販売

【最近の事例と今後の予定】

名 称	期 間	場 所
あびこショッピングプラザ 観光物産PR	H23. 4. 29(金・祝)	あびこショッピングプラザ (千葉県我孫子市)
ちょうふ・絆・ぬくもり in 新宿西口	H23. 6. 28(火)~30(木)	新宿駅西口広場(新宿区)
山陰山陽観光物産フェア	H23. 7. 21(木)~22(金)	日本橋プラザビル南広場 (中央区日本橋)

3 被災地の支援

- ・茨城県の特産品(オトメメロン、納豆加工品等)を鳥根県アンテナショップ「にほんばし鳥根館」と連携して販売(4/26~6/30)
- ・売上げの一部を義援金として運営事業者(有限会社 長生堂)から茨城県へ寄付(7/11)

4 運営状況

<来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H20. 8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
H21. 1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
H20. 8. 29~ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21. 4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
H22. 1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4~H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
12月	5,967名	31日	9,060	261	1,736名	27日	6,210
H23. 1月	4,660名	28日	6,616	199	1,050名	18日	3,268
2月	4,759名	28日	6,227	128	1,457名	23日	5,329
3月	4,837名	31日	(75.2%) 6,182	110	1,277名	24日	(60.9%) 3,696
H22. 4~H23. 3	69,006名	362日	(98.1%) 91,164	2,764	18,545名	293日	(79.6%) 60,283
H23. 4月	6,211名	30日	8,199	68	1,673名	25日	5,272
5月	5,971名	31日	8,126	165	1,431名	23日	4,704
H23. 4~H23. 5	12,182名	61日	(96.8%) 16,325	233	3,104名	48日	(94.2%) 9,976
合 計	192,737名	995日	250,622	5,939	57,118名	803日	196,078

※上段の () 書きは、対前年比

<最近の人気商品>

順位	品 名	販売価格	順位	品 名	販売価格
1位	ブドーパン	(1個入)150円	4位	白バラ牛乳 1,000ml	(1本入)365円
2位	大山ソフトクリーム	(1個)380円	5位	とうふちくわ・生	(1本入)250円
3位	生干しほたるいか	(1本入)525円			